

【新規】性的マイノリティ向け交流スペース 「みんなのひろば」を提供

◇事業目的

品川区は平成31年3月、「マイセルフ品川プラン ～誰もが自分らしく～」を策定した。同プランを、全ての区民がいきいきと暮らすことができる豊かで活力ある地域社会を築いていくための施策推進の基盤と位置付けている。計画期間は平成31年4月から10カ年。

同プランでは、性的マイノリティへの理解促進と支援を重点施策の一つとしており、これまで実施してきた人権関連事業における参加者へのアンケート等の結果、居場所づくりのための「交流の場」を求める声が多く寄せられていた。

今後、性自認・性的指向の在り方や多様性を認め合い、差別や偏見をなくせるよう、「交流の場」を提供し、安心して思いや悩みを共有し、自分らしく生きることのできる品川を目指す。

◇事業内容

区は、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）や、まだ自分の性的指向や性自認がはっきりしていない人が自由に集まり会話をしたり、情報等を共有することができる「交流スペース」を、試験的に提供する。

運営にあたっては、利用者が安心して自己表現できる居場所となるよう、専門のスタッフが常駐し、ファシリテーターとして進行を務める。

1. 期 日 7月11日（土）午後2時～4時、令和3年2月13日（土）午後2時～4時
2. 会 場 品川区男女共同参画センター交流室（東大井5-18-1 きゅりあん3階）
3. 参加料 無料（予約不要、入退室自由）
4. 対象者 10歳以上（区民以外も可）

◇事業予算 600千円



問い合わせ：総務部 人権啓発課長 電話 03-5479-4104

【新規】子どもや若者の活動拠点整備の検討

◇事業目的

核家族や転入者の増加によって地域コミュニティは希薄となり、社会参加の機会が減少するなど、子ども・若者は孤立しやすい環境にある。また、不登校やひきこもりなど子ども・若者を取り巻く課題は複雑化している。そこで、子ども・若者の活動拠点の整備を行い、支援を強化するとともに、育成支援者の養成・確保を図る。

◇事業内容

児童センターの改築等に合わせ、地域や子ども・若者・子育て世代の声を反映させた形で、若者の活動拠点の機能をプラスした魅力ある施設について、企画の策定を行う。

児童センターは18歳までを対象としているため、多目的ホール、交流スペース、カフェキッチン、音楽スタジオ、フリースペース等、18歳以上の若者も主体的に活動できる要素を加え、気軽に立ち寄れる居場所となる施設を目指す。

◇事業予算 6,115千円

| | | |
|------|-----------|---------|
| (内訳) | 基本構想等検討委託 | 5,555千円 |
| | 検討委員会謝礼 | 560千円 |

<今後のスケジュール>

| | |
|---------|--------------------------|
| 令和2年度 | 施設内容、および設計、整備場所に関する検討・調整 |
| 令和2～3年度 | 整備場所決定、改築工事等の調整 |

問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

Let's play together ! 障害者スポーツ

◇事業目的

子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツに親しめる地域共生社会を目指し、障害者スポーツの理解・普及・推進を図る。

◇事業内容

区立体育館で実施する障害者対象のスポーツ教室、水泳教室、水泳大会に加え、障害者スポーツ指導者を区内施設等に派遣する新規事業を含む、次の4つの事業を実施する。

1. 障害者スポーツチャレンジデー（年1回）

各種障害者スポーツ体験、障害者スポーツのアスリートによるデモンストレーションを通して、障害者スポーツへの理解を高める。

2. ユニバーサルスポーツフェスタ（年2回）

障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーションを通して、交流、相互理解を図る。

3. 障害者スポーツ教室

知的障害者を対象に、身近な場所でスポーツに親しむための教室を実施する。

(1) みんなで走ろう！～fun run & walk～（年6回）

(2) フライングディスク教室（年3回）

4. 障害者スポーツ指導者派遣事業【新規】

区内の福祉施設等に障害者スポーツ指導員等を派遣し、利用者・スタッフに障害のある人が気軽に楽しめるスポーツを体験してもらい、派遣後も各施設にて、自主的に継続して取り組めるきっかけを作る。

◇事業予算

9,387千円

(内訳)

障害者スポーツチャレンジデー 8,473千円

ユニバーサルスポーツフェスタ 457千円

障害者スポーツ教室 427千円

障害者スポーツ指導者派遣 30千円



障害者スポーツ体験の様子（障害者スポーツチャレンジデー）

問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591

特別支援学級の整備

◇事業目的

個々の特別な配慮を要する児童・生徒の増加傾向が続き、就学・進学時の就学相談の件数も増加の一途をたどっていることから、支援を必要とする児童・生徒を受け入れるための環境を整備し、小学校から中学校（義務教育学校 前期課程から後期課程）まで途切れない支援を行う。

◇事業内容

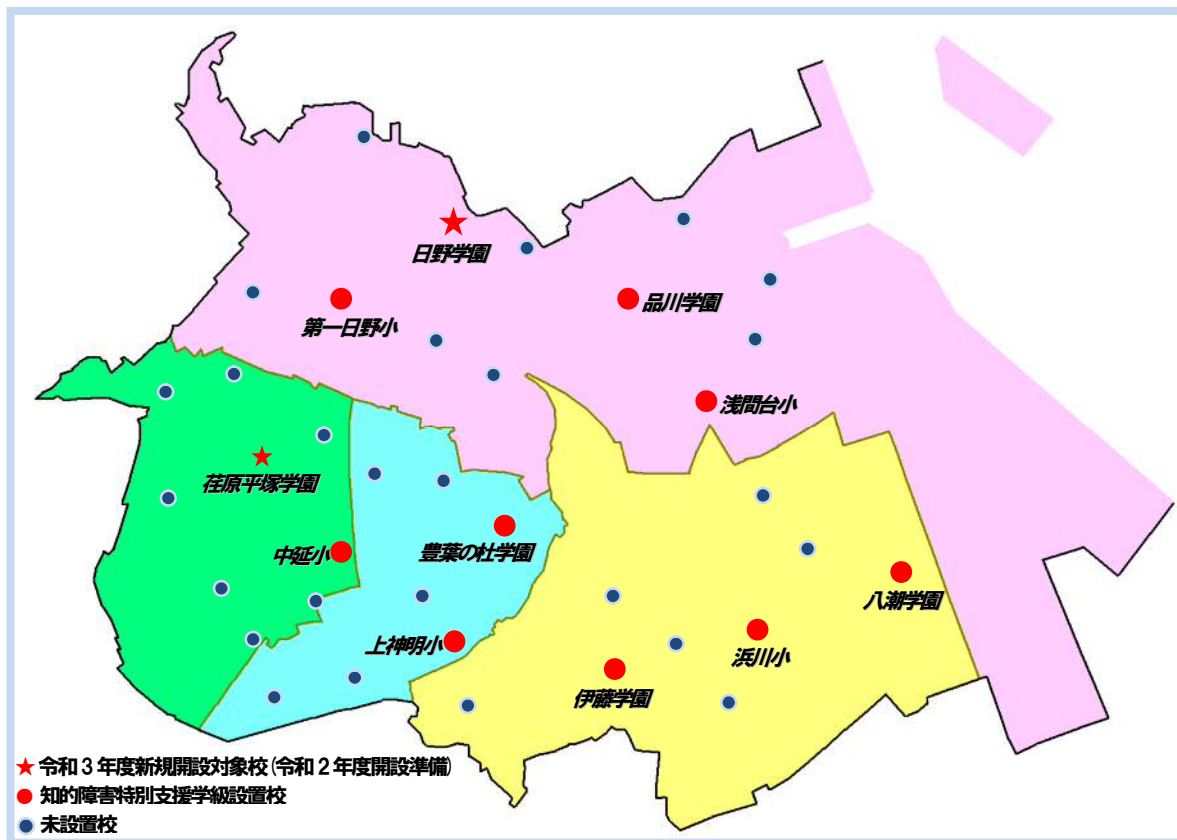
義務教育学校 6 校のうち、前期課程（1 年生～6 年生）に知的障害特別支援学級が未設置である 2 校に学級を新規に開設する。令和 2 年度は令和 3 年度 4 月開設に向けた準備を行う。（対象校：日野学園、荏原平塚学園）

学級開設の教室工事は 7 月～9 月頃を実施。受け入れ児童数については、令和 3 年 4 月開設に向けて、就学相談(6 月～)を通じ検討する。

※特別支援学級：教育上特別な配慮を必要とする児童・生徒のために設置する学級

| | |
|-------|------------------|
| ◇事業予算 | 54,120 千円 |
| （内訳） | 日野学園 32,550 千円 |
| | 荏原平塚学園 21,570 千円 |

★小学校・前期課程知的障害特別支援学級設置状況



問い合わせ：教育委員会事務局 教育総合支援センター長 電話 03-3490-2016